



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月12日

上場会社名 株式会社 ケアネット 上場取引所 東
 コード番号 2150 URL https://www.carenet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 勝博
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 深澤 郁 TEL 03-5214-5800
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	1,845	35.4	461	94.3	459	101.9	179	25.1
2019年12月期第2四半期	1,362	△4.1	237	△0.7	227	6.4	143	9.4

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 245百万円 (-%) 2019年12月期第2四半期 △48百万円 (△136.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	17.33	—
2019年12月期第2四半期	13.52	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	4,302	2,343	54.2	224.73
2019年12月期	3,079	2,155	69.8	207.19

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 2,333百万円 2019年12月期 2,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	7.1	624	3.1	612	3.2	410	△8.4	39.51

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	11,048,000株	2019年12月期	11,048,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	666,247株	2019年12月期	666,247株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	10,381,753株	2019年12月期2Q	10,632,943株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速な悪化が続いており、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国を始めアジア新興国等の経済動向、金融資本市場の変動に加え、米中貿易摩擦や米国政策運営の不透明感の継続など、世界経済の不確実性は高く、国内外の先行き景気には留意する必要があります。

当社グループの主要顧客が属する製薬業界においては、大型薬剤の特許切れや薬価制度の変更、ジェネリック医薬品の使用促進などに直面し、製薬企業の営業環境は、厳しい状況が続いております。そのため、製薬企業は、新薬の研究開発や営業・適正普及活動において、さらなる生産性向上を求めています。また上市される新薬の中心が、スペシャリティ医薬品になるなかで、製薬企業はスペシャリティ医薬品に合った新たな適正普及支援を必要としております。

なお、当社グループでは、緊急事態宣言の発令を受け、新型コロナウイルス感染症対策として、リモートワークを実施し、顧客との商談、セミナー等についてもオンラインで実施いたしました。また、製薬企業はMRの医療機関への訪問自粛が続いている背景から、医薬営業支援サービスの各既存サービスのニーズが高まり、受注が増加する要因となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高1,845百万円（前年同四半期比35.4%増）、売上総利益1,263百万円（前年同四半期比38.6%増）、営業利益461百万円（前年同四半期比94.3%増）、経常利益459百万円（前年同四半期比101.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益179百万円（前年同四半期比25.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 医薬営業支援サービス

当サービスにおいては、既存サービスの販売体制強化及び販売管理費のコスト削減や効率化等の諸施策などの取り組みを進めるなか、医薬営業支援サービスの売上高は1,601百万円（前年同四半期比35.6%増）、営業利益は812百万円（前年同四半期比36.9%増）となりました。

② 医療コンテンツサービス

当サービスにおいては、医師向け教育コンテンツ「ケアネットDVD」及び「その他」の売上高は106百万円（前年同四半期比67.8%増）、医療教育動画サービス「CareNetTV」の売上高は136百万円（前年同四半期比15.7%増）となりました。

この結果、医療コンテンツサービスの売上高は243百万円（前年同四半期比33.9%増）、営業利益は46百万円（前年同四半期比28.5%増）となりました。

また、医師・医療従事者向け医療専門サイト「ケアネット・ドットコム（CareNet.com）」においては、医師会員獲得及び維持を目的に、前期に引き続き積極的に投資を行っております。これにより、当第2四半期連結会計期間末の医師会員数は16万1千人（前年同四半期比8.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①財政状態の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,222百万円増加の4,302百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,030百万円増加の3,506百万円となりました。これは主に、現金及び預金1,204百万円の増加、受取手形及び売掛金122百万円の減少によるものであります。

また、固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ192百万円増加の796百万円となりました。これは主に、のれん90百万円、投資その他の資産66百万円の増加によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,035百万円増加の1,959百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,035百万円増加の1,945百万円となりました。これは主に、短期借入金1,100百万円、未払法人税等106百万円の増加、役員賞与引当金96百万円の減少によるものであります。

また、固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ0百万円増加の14百万円となりました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ187百万円増加の2,343百万円となりました。これは主に、利益剰余金117百万円、その他有価証券評価差額金63百万円の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1,204百万円増加の2,537百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、437百万円（前年同四半期は173百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益339百万円、売上債権の減少122百万円、投資有価証券評価損120百万円、ポイント引当金の増加47百万円などによる資金の増加と、未払金の減少99百万円、役員賞与引当金の減少96百万円、法人税等の支払額71百万円などによる資金の減少との差引によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、274百万円（前年同四半期は154百万円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出100百万円、無形固定資産の取得による支出44百万円、事業譲受による支出109百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、1,043百万円（前年同四半期は137百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純増減額1,100百万円による資金の増加と、配当金の支払額61百万円などによる資金の減少との差引によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、2020年2月13日に公表いたしました業績予想と差異が発生しております。詳細は2020年8月13日公表の「第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。また、2020年12月期通期連結業績予想につきましては、2020年2月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による当社の事業への影響は、当第2四半期連結累計期間までは限定的であるため、本業績予想には織り込んでおりません。今後、修正が必要と判断される場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,433,080	2,637,622
受取手形及び売掛金	853,741	731,503
たな卸資産	30,088	43,694
前払費用	40,766	35,971
その他	118,426	57,899
流動資産合計	2,476,103	3,506,691
固定資産		
有形固定資産	17,184	35,623
無形固定資産		
のれん	—	90,247
その他	55,550	72,660
無形固定資産合計	55,550	162,907
投資その他の資産	531,056	597,656
固定資産合計	603,791	796,186
資産合計	3,079,895	4,302,877
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,394	27,648
短期借入金	—	1,100,000
未払法人税等	82,274	188,543
前受金	3,145	20,200
役員賞与引当金	97,030	200
ポイント引当金	354,429	401,582
その他	325,656	207,014
流動負債合計	909,930	1,945,190
固定負債		
資産除去債務	14,393	14,507
固定負債合計	14,393	14,507
負債合計	924,324	1,959,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	627,045	627,045
資本剰余金	551,182	551,260
利益剰余金	1,456,911	1,574,577
自己株式	△450,956	△450,956
株主資本合計	2,184,183	2,301,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△29,470	34,415
為替換算調整勘定	△3,747	△3,243
その他の包括利益累計額合計	△33,217	31,171
非支配株主持分	4,604	10,080
純資産合計	2,155,570	2,343,179
負債純資産合計	3,079,895	4,302,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,362,875	1,845,017
売上原価	451,734	581,965
売上総利益	911,141	1,263,052
販売費及び一般管理費	673,434	801,239
営業利益	237,707	461,812
営業外収益		
受取利息	319	381
受取手数料	—	1,031
保険配当金	1,968	1,650
雑収入	374	579
営業外収益合計	2,662	3,642
営業外費用		
支払利息	142	2,134
為替差損	3,809	2,255
貸倒引当金繰入額	7,895	1,248
雑損失	769	16
営業外費用合計	12,616	5,655
経常利益	227,753	459,799
特別損失		
投資有価証券評価損	—	120,600
特別損失合計	—	120,600
税金等調整前四半期純利益	227,753	339,199
法人税、住民税及び事業税	74,187	173,390
法人税等調整額	9,853	△14,973
法人税等合計	84,040	158,417
四半期純利益	143,713	180,782
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△85	826
親会社株主に帰属する四半期純利益	143,798	179,955

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）
四半期純利益	143,713	180,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△193,167	63,885
為替換算調整勘定	855	503
その他の包括利益合計	△192,312	64,389
四半期包括利益	△48,599	245,171
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,513	244,345
非支配株主に係る四半期包括利益	△85	826

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	227,753	339,199
減価償却費	14,466	17,881
のれん償却額	—	4,749
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,895	1,248
受取利息及び受取配当金	△319	△381
支払利息	142	2,134
為替差損益(△は益)	3,809	2,056
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△42,663	△96,830
ポイント引当金の増減額(△は減少)	31,000	47,153
投資有価証券評価損益(△は益)	—	120,600
売上債権の増減額(△は増加)	133,866	122,238
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,865	△13,605
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,645	△19,745
未払金の増減額(△は減少)	△62,378	△99,220
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,236	△4,955
未払費用の増減額(△は減少)	△7,852	△7,077
前受金の増減額(△は減少)	9,323	17,055
その他	64,961	77,709
小計	329,258	510,210
利息及び配当金の受取額	335	344
利息の支払額	△142	△2,134
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△155,759	△71,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	173,691	437,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△90,800	△100,504
有形固定資産の取得による支出	△3,821	△16,442
無形固定資産の取得による支出	△7,605	△44,819
事業譲受による支出	—	△109,090
差入保証金の差入による支出	—	△2,034
差入保証金の回収による収入	1,456	—
その他	△53,316	△1,297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154,085	△274,189
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,100,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	4,689
自己株式の取得による支出	△73,671	—
配当金の支払額	△63,561	△61,482
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137,233	1,043,206
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,984	△1,578
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△120,612	1,204,542
現金及び現金同等物の期首残高	1,502,361	1,333,080
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,381,749	2,537,622

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬営業 支援サー ビス	医療コン テンツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,181,202	181,673	1,362,875	—	1,362,875
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,181,202	181,673	1,362,875	—	1,362,875
セグメント利益	593,825	35,946	629,772	△392,065	237,707

(注) 1. セグメント利益の調整額△392,065千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬営業 支援サー ビス	医療コン テンツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,601,790	243,226	1,845,017	—	1,845,017
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,601,790	243,226	1,845,017	—	1,845,017
セグメント利益	812,876	46,193	859,069	△397,257	461,812

(注) 1. セグメント利益の調整額△397,257千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬営業支援サービス」セグメントにおいて、株式会社フェーズワンから「がん@魅せ技」事業の譲受を実施いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては94,996千円であります。

（企業結合等関係）

（事業の譲受）

当社は、2020年2月25日開催の取締役会において、株式会社フェーズワンが運営するインターネットによる医療動画コンテンツ配信サイト「がん@魅せ技」事業を譲受けることについて決議し、2020年2月28日付で同社と事業譲受に関する契約を締結いたしました。また、当該事業譲渡契約に基づき、2020年4月1日付で同事業の譲受を実施いたしました。

1. 事業譲受の概要

(1) 相手企業の名称及び譲受事業の内容

相手企業の名称	株式会社フェーズワン
譲受事業の内容	医療動画コンテンツ配信サイト「がん@魅せ技」事業

(2) 事業譲受を行った主な理由

当社の医薬営業支援事業は、内科系医師を中心とした会員基盤及び内科系医師向けの動画コンテンツに強みがあります。しかし、昨今がん領域をはじめとした専門薬の医薬品市場の伸びが著しく、今後の医薬営業支援事業での受注拡大のためには、情報提供の対象となる外科系医師の会員獲得及び外科系医師向けのコンテンツ開発が重要な課題となっております。

一方、株式会社フェーズワンが運営する「がん@魅せ技」では、外科系医師向けに特化した動画コンテンツを取り扱っており、会員基盤も外科系医師が中心となっております。そのため、今回の事業譲受を実施することで、当社の課題であった外科系医師会員の新規獲得及び外科系医師向けのコンテンツ企画・開発のノウハウを取得することができ、医薬営業支援事業のより一層の受注拡大が期待できるものと判断いたしました。

(3) 事業譲受日

2020年4月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

2020年4月1日から2020年6月30日まで

3. 譲受事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	109,090千円
取得原価		109,090千円

4. 主要な関連費用の内容及び金額

該当事項はありません。

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

94,996千円

なお、のれんは、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

主として、「がん@魅せ技」事業における外科系医師会員の新規獲得及び外科系医師向けのコンテンツ企画・開発のノウハウ取得によって期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

固定資産	7,896千円
------	---------